

## 仕様書

工事名 パイプハウス解体及び軽量鉄骨丸屋根型ハウス新設工事  
(自動カーテン・暖房設備・排気設備・いちご高設ベンチ付帯)  
施工場所 佐賀市川副町南里 農業試験研究センター

### 仕様

#### 【ハウス種別】

- ・ 軽量鉄骨丸屋根型ハウス

#### 【ハウス規模・面積】

- ・ 間口 6.0m×奥行 35m 単棟 (両妻 2.5m×2S+3m×10S) = 210 m<sup>2</sup>
- ・ 柱高 2.5m
- ・ 予備室 (2.5m) 有り

#### 【ハウス本体】

- ・ 基礎石：200×650×700H 205kg
- ・ 柱・合掌：□-100×50×2.3 6m用 ドブメッキ
- ・ ダイバー：□-50×50×1.6 ドブメッキ
- ・ 母屋パイプ：φ-38.1×1.6
- ・ 補助アーチ：φ-19.1×1.2 50cm ピッチ
- ・ 妻柱：□-50×1.6
- ・ 出入口：W1.2×H2.0 両引き 3か所 (南北出入口および予備室と栽培室の間)
- ・ サイド換気：自動 (駆動モーター、接続BOX、制御盤 (カバー付き) で温度センサーおよび雨センサーで自動制御：MG21-RT6P、MRT-16、MAC-42B) 1段換気
- ・ 換気扇：制御盤および温度センサーで自動制御、換気扇 (FGX-10706)、電動シャッター (TSA-100×2台)
- ・ 被覆資材：外張り 0.15 PO フィルム  
防虫ネット 0.4mm 目合い 白  
内張り 屋根 LS フィルム (テンパ 5557D)  
サイド 0.1 PO フィルム
- ・ 内張りカーテン：1軸1層 傾斜4枚張 自動

#### 【暖房設備】

- ・ 加温機：小型温風機 (KA-205 100V 下吹き型)、ポリダクトを設置
- ・ 4段サーモ (NT145S1 100V) で温度制御

・オイルタンク (BOT-200) および防油堤を設置

【いちご高設ベンチ】

〈本体〉

項目	条件
ベンチ数	・ハウス内に4ベンチ(固定式)を設置すること
ベンチの高さ	・地面から95cm~105cmの範囲の高さであること
ベンチの長さ	・1ベンチは30m程度であること
栽培槽	・栽培槽の横幅は、25cm~35cmの範囲であること ・栽培槽の深さは、20cm~30cmの範囲であること ・栽培槽の底面に暗渠パイプを設置するなど、排水対策を講じること ・栽培槽は、止水シート等で水が漏れないようにすること
培養土	・イチゴ栽培に適した培養土を栽培槽に充填すること
葉よけ	・果房を出すために葉よけ資材(イチゴ玉出し棒)を設置すること
玉受け	・玉受け(ベリーウイングおよびベリーネット等)を設置し、果房が折れないようにすること ・玉受け部分に緩衝資材(ゆめまくらスリムなど)を設置し、果実が傷つかないようにすること

〈灌水資材〉

項目	条件
タイムスイッチ	・分単位でオン、オフの制御が可能であること(FY2D 1系統) ・タイマーによる自動灌水および液肥混入が可能であること
電磁弁	・20A AC100であること
バルブ	・バルブによりベンチ毎の灌水が可能であること
灌水チューブ	・灌水チューブを設置すること
液肥混入器	・水量に応じて液肥が注入され、流れる水量が変化しても、希釈率(0.2%~2%)が一定であること(ドサトロンDR-6) ・流量は0.16~50L/分が可能であること ・液肥タンクは50L以上蓋つきとすること

〈その他〉

項目	条件
防草シート	・圃場内の床面は、均平化および転圧後、すべて防草シートを敷き詰めること
排水設備	・灌水後、栽培槽から出た排水について、ハウス外へ流すよう整備すること

#### 【電照設備】

- ・イチゴの電照設備を設置
- ・電照コード：2m×16灯 2列
- ・電照ランプ：LED 8W
- ・電照操作盤で時間帯をタイマー制御
- ・電照設備は防水仕様

#### 【その他】

- ・既存のパイプハウスの解体および残材処分の諸経費を含むこと
- ・搬入、取付工事、残材処分および操作説明等一切の諸経費を含むこと
- ・高設ベンチの取付工事は、圃場内の転圧工事、防草シート敷設工事、高設ベンチ組立工事、電照設備設置工事、培土充填工事、灌水工事、電気工事を含むこと
- ・県内に営業所があり、アフターケアを迅速に行うこと
- ・この仕様書に記載のない事項または疑義のある事項については、発注者と協議して解決するものとする。
- ・当該工事は、建設業法第2条第1項の別表の上欄に掲げる建設工事には該当しない。